

7月13日

代表・一般質問

田島信二議員

会派（自民党）

質問番号 5 - (2)

質問要旨

5 環境・廃棄物対策について

(2) 一般廃棄物の処理については、県は「神奈川県ごみ処理広域化計画」を策定して、横浜・川崎を除く、地域を7つのブロックにわけ、広域化に向けた取組みをしている。今回のエコループプロジェクトは、県内の広いエリアから発生する廃棄物を処理対象としていることから、県と市町村がともに進めている「神奈川県ごみ処理広域化計画」の取組みと重複があるように思われる。

そこでエコループプロジェクトと現在進められている神奈川県ごみ処理広域化計画との関係や影響について、知事はどのように認識しているのか、また、市町村に混乱をもたらさないためにも、情報交換の場を早急に設けるべきと考えるが、併せて所見を伺いたい。

答弁要旨

- 最後に、エコループプロジェクトとごみ処理広域化計画との関係や影響についてのお尋ねであります。
- ごみ処理広域化については、ごみの排出抑制はもとより、資源化の推進や環境負荷の低減などを目指しているもので、現在、横浜、川崎を除く市町村が7つのブロックを形成し、共同で検討を進めていただいております。
- こうした中で、市町村からは、焼却灰の資源化など、ブロック内だけでは解決が難しい課題への取組について要望が寄せられておりますが、こうしたブロックを越えた広域的な課題への対応策の一つとして、ごみ処理広域化計画においては、民間活力の活用も挙げているところでございます。

答弁要旨（続き）

- この度のエコループプロジェクトは、様々な廃棄物を適正かつ効率的に処理し、徹底した資源化を目指すこととしており、広域課題に対応した民間活力の活用にあたるのではないかと受け止めております。
- したがって、このエコループプロジェクトが具体化するにつれて、広域化の取組に影響が及ぶことが考えられるわけですが、現在進められている広域化の取組には、各ブロックのごみ処理施設の現況の違いなどもあって、進捗に相当の開きがありますので、影響も様々ではないかと受け止めています。
- こうしたことから、県といたしましては、当面は、このプロジェクトについて、新会社の事業化に向けた動きなどについての情報収集・提供に努めるとともに、各市町村、各ブロックの個別事情にも十分に配慮しながら、きめ細かな対応に努めていきたいと考えております。
- また、議員のお話にございました、市町村への情報提供や意見交換の場づくりにつきましては、早急に機会を設けて、市町村と協議してまいりたいと考えております。